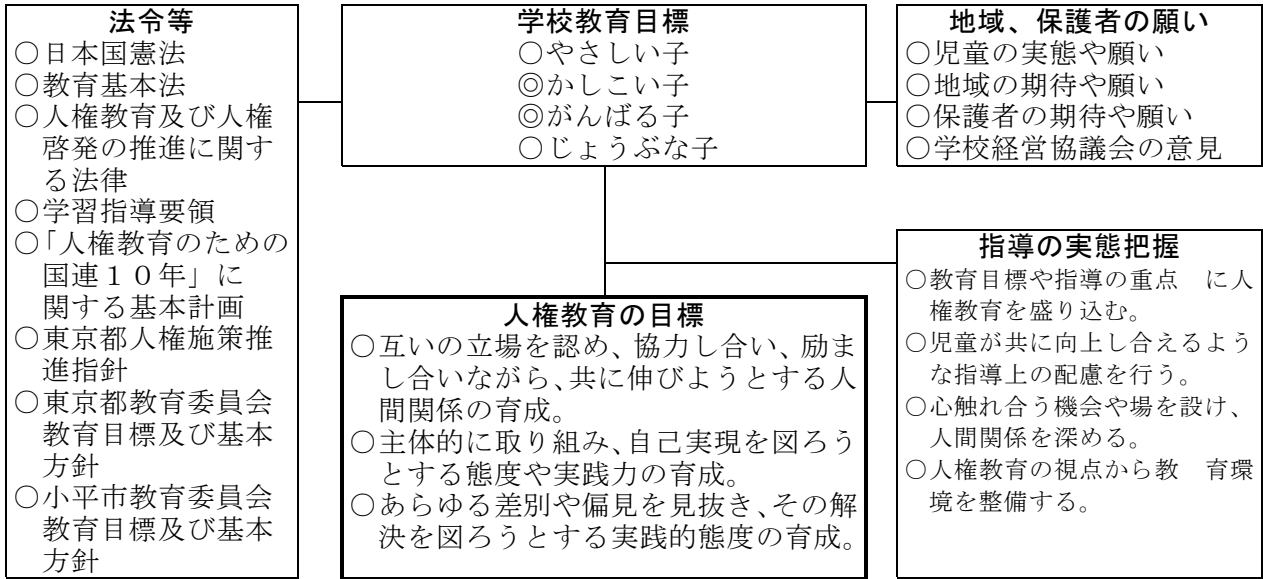


令和8年度 小平市立上宿小学校 人権教育にかかわる全体指導計画



【人権教育の課題】

[気付く] 偏見やいじめにつながる言動や差別する行動をとる自分の心の弱さに気付く。
 [分かる] 自分の弱さや相手の悲しみが分かり、乗り越えなければならない課題が分かる。
 [実践する] 自分の心の弱さを克服し、人間としてよりよい生き方を考えて行動し実践する。

【めざす児童像】

○自分のよさに気付き、認められる子 ○友達とかかわり、よさに気付ける子
 ○思いやりの心を持ち、他者を理解できる子 ○人権について知り、差別をしない子

全教育活動における指導のねらい				
<p>【各教科】 指導方法の工夫や教科相互の関連等に配慮して、人権教育の視点に基づく年間指導計画を作成する。</p>	<p>【特別の教科道徳】 話し合いを通して、多様な考え方があることを理解し、違いを認め、自己のよりよい生き方を求めていく。</p>	<p>【特別活動】 思いを伝え合い認め合う活動を大切にすることで、自他を大切にして、よりよい人間関係を形成していく。</p>	<p>【総合的な学習の時間】 様々な人権課題を自らの問題としてとらえ、偏見や差別の解消に努める。</p>	<p>【外国語活動】 外国語を学ぶ活動を通じて、異文化への理解を深める。</p>

【人権教育にかかわる年間指導計画作成のための方針】

- 具体的な実践の内容における人権教育のねらいを明確にする。
- 学校、家庭、地域社会における生活体験などの身近な問題を取り上げる。
- 交流や対話の機会をつくる交流型、対話型の体験学習を取り入れる。
- 時期に応じた学校行事等との関連を図ったり、地域と交流したりする。

<p>【低学年の重点】 自分の思いが話せ、自己肯定感をもつとともに、一人一人を大切にすることを育てる。</p>	<p>【中学年の重点】 互いの意見を出し合いながら自他を大切に、差別や偏見を見逃さない心を育てる。</p>	<p>【高学年の重点】 相手の気持ちを尊重しつつ自分の意見を主張し、人権を尊重できる行動力を育てる。</p>
--	--	---

<p>教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権教育プログラムを活用した校内研修等。 ○人権感覚を磨く。 	<p>【学年・学級経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感を味わえる学習活動。 ○体験的・問題解決的な活動を重視した学習活動。 ○一人一人のよさを認め合える人間関係づくり。 ○読書活動を重視した思いやりの心の育成。 	<p>家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すすんで地域社会の一員として協力する実践的態度を育てる。
---	---	---